



Applicable requirements:
ANSI/UL 1017
CSA C22.2 No. 243

Characteristics



ULPA Included



High Efficiency



Cleanroom Applications



Pharma Applications



Static Dissipating



Resistivity: Less than 10 ohms



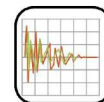
Dry Recovery



Stainless Steel AISI 304



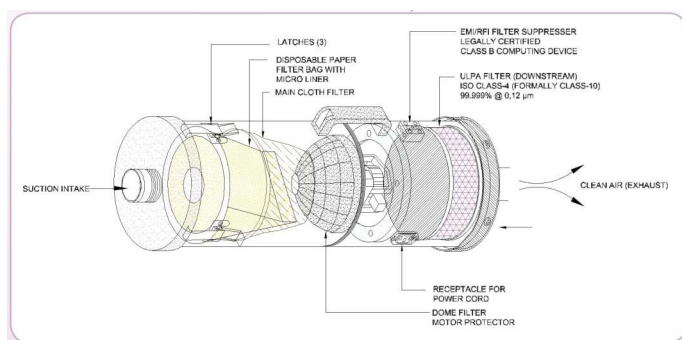
Static Dissipating Toolkit



EMI Shielded



- ULPA フィルター (0.12 ミクロン粒子を 99.999%捕集: IEST RP-CC001.3. 検査済み)、(0.18 ミクロン粒子を 99.9995%捕集: IEST RP-CC001.3. U15 by MPPS method as per EN 1822 検査済み)
- ISO クラス4 (従来のクラス 10) に基づくクリーンルーム対応。製薬現場でも使用可能。
- 静電気防止型、ESD 対策品、EMI/RFI シールド
- 4 段階フィルターシステム (ULPA フィルターU15、布フィルター、ドームフィルター、使い捨てフィルターバッグ)。
- 壊れたウェイファーや鋭利なものを回収できるステンレス製特殊フィルターのオプションあり
- 汚染管理環境における一般的な清掃用
- 単相スルーフローモーター
- 乾式専用
- 総ステンレス製
- 使い捨てフィルターバッグに2リットルの回収容量
- 肩ベルトセットのオプションあり
- ツールキット込み



フィルターシステム

総ステンレススチール構造。モーターの下流部に ULPA フィルター (U15) を搭載。また、EMI/RFI シールドしており、室内のコンピューターや電気機器に影響を与えません。静電気防止、静電気放電型です。掃除機を稼働している間、発生したわずかな静電気もすばやく効果的にアースに放電されます。この機種はクリーンルーム対応で、製薬現場でもご使用になれます。汚染管理環境における一般的な清掃用にデザインされています。これは乾式専用です。他の機種同様、工場出荷時に 1 台 1 台エアソール漏れの検査をしています。

機械仕様		
型式		MV-1 CR (HH)
パーツNo.		T 110735A
紙ハック容量	L	2
吸引力	kPa	13.0
エアフロー	m ³ /min	2.6
供給電源	V	単相 AC100V
モーターパワー	HP	0.7
電流	A	5.4
消費電力	W	540
外形	cm	H20×W20×L51
重量	kg	5

ULPA フィルター（Ultra Low Penetration Air Filter 超高性能フィルター）はエアフィルター的一种で、ほこり、花粉、かび、バクテリア、その他 0.12 ミクロン以上の粒子を 99.999%捕集します。

EMI（電磁波）抑制、RFI（無線周波妨害）シールド

このクリーンルーム用掃除機は、放射されたり通電されたりした EMI を減らす電子フィルターサプレッサー（抑制機）を取り付けています。FCC（米国連邦通信委員会）や ISO（国際標準化機構）により規定されたクラス B の基準を下回っています。これはまた RFI（無線周波妨害）もシールドします。電子フィルターがモーターに沿って配線されています。

静電気防止型システム（静電気放電）

この掃除機は使用中、接地するようにデザインされています。掃除機を使用している間に発生するどんな静電気も、コンダクティブホース、掃除機を通してアースに逃がします。ご使用前にアースとの導通を確認できるテスターがそれぞれの掃除機についています。静電気放電型掃除機は静電気と静電気蓄電を除去し、繊細な電気機器を守ります。



ツールとアクセサリ（標準付属品）		
パーツNo.	数量	仕様
T212075	1	使い捨て紙ハック(5枚)
T212070	1	静電防止バキュームホース 1.5m
T323316	1	マイクロツールキット 径 32 φ 静電防止プラスチック
T323312A	1	丸ブラシ 径 32 φ 静電防止プラスチック
T323314A	1	家具用ノズル 径 32 φ 静電防止プラスチック
T323313A	1	隙間ノズル 径 32 φ 静電防止プラスチック
T323321	1	ゴム付き丸ノズル 径 32 φ 静電防止プラスチック
T211065	1	接地テスター
T212080	1	電源コード 10m

ご注意：この掃除機を爆発性のほこりや揮発性の液体の回収には使用しないで下さい。